

報道各位

平成21年9月7日

ユネスコ世界寺子屋運動20周年記念イベント
「すすめ！ユネスコ世界寺子屋運動20周年」を開催
—広報特使「まなびゲーター」として久保純子さんを起用—

社団法人日本ユネスコ協会連盟
株式会社電通
株式会社電通テック
株式会社電通国際情報サービス
株式会社サイバー・コミュニケーションズ

社団法人日本ユネスコ協会連盟と、株式会社電通、株式会社電通テック、株式会社電通国際情報サービス、株式会社サイバー・コミュニケーションズの電通グループ4社は、本年「ユネスコ世界寺子屋運動」(※1)が20周年を迎えるに際し、9月8日の「国際識字デー」(※2)にあわせ、9月7日(月)・8日(火)の両日、電通汐留本社ビル1階ホールにて、ユネスコ世界寺子屋運動20周年記念イベント「すすめ！ユネスコ世界寺子屋運動20周年」を共催いたします。

アジアを中心に世界にはいまだ読み書き出来ない大人が7億7600万人、学校に行けない子どもが7500万人いると言われていています。このイベントの目的は、一人でも多くの方が学びの場を得られるために寺子屋を設立し、将来的にはそれを地元の人々が持続的に自分達で運営していくことができるように支援する「ユネスコ世界寺子屋運動」の活動を、20周年を機により多くの日本の方に知っていただくことにあります。

開催概要は以下の通りです。

◆「すすめ！ユネスコ世界寺子屋運動20周年」イベント初日：【プレスデー】

日時：9月7日(月) 13時30分～15時30分 電通汐留本社ビル1Fホール

対象：プレスおよび関係者

概要：

- ・「ユネスコ世界寺子屋運動」の広報特使「世界寺子屋運動 まなびゲーター」に就任するフリーアナウンサー久保純子さんの任命式。
(「まなびゲーター」とは単なる広報担当に留まらず、久保さん自らがこれから一緒に寺子屋についてより多くのことを学びながら、ナビゲーターとして日本中のみなさんに「ユネスコ世界寺子屋運動」の活動を伝えていく役割を担います。)

- ・「ユネスコ世界寺子屋運動」20周年スローガンの発表

読み書きは、
心をつくる。
仲間をつくる。
平和をつくる。
未来をつくる。

このスローガンの意味は、寺子屋が読み書きはもちろん、学ぶ楽しさを分かち合い、考える力、話し合う力、そして共に生きていく力を育むことが平和な未来の礎となることを表しています。

- ・トークセッション「カンボジア寺子屋体験」
8月、実際にカンボジアの寺子屋を訪れた久保純子さんを交え、現地スタッフとトークセッション。
- ・電通の社会貢献活動紹介。電通グループによる寺子屋運動活動紹介。

◆ 「すすめ！ユネスコ世界寺子屋運動20周年」イベント2日目：【国際識字デー】

日時：9月8日（火）10時30分～17時00分 電通汐留本社ビル1F

対象：ユネスコ世界寺子屋運動関係者

概要：

- ・ 基調講演 「国際識字デーと世界寺子屋運動」
世界寺子屋運動20周年委員会委員長
現 国際基督教大学教育研究所顧問 千葉杲弘氏
- ・ 活動紹介 「寺子屋の現場から」
寺子屋識字教員 シン・シブコーイ氏（カンボジア）
寺子屋元学習者 ラカップ・バンディ氏（インド）
- ・ パネルディスカッション 「企業の世界寺子屋運動支援」
「若者が見た、触れた、感じた寺子屋の現場」

電通グループ4社は、「コミュニケーションの力を社会のために」という理念のもと、社会貢献活動の一環として「ユネスコ世界寺子屋運動」を2003年から支援して参りました。2004年にはこの運動を子どもたちにもわかりやすく伝えるためのツールとして「くるりんぱ」(※3)を起用、電通汐留本社ビルなどでチャリティー展覧会、ワークショップなどを開催いたしました。「くるりんぱ」の「テラちゃん」は、「ユネスコ世界寺子屋運動」のシンボルマークとして、現在も使用されています。

今後は11月7日・8日に横浜で行われる「日本ユネスコ運動全国大会」や平成22年1月30日に電通ホールにて行われる「ユネスコ世界寺子屋運動戦略会議」など、電通グ

ループ4社は今回「世界寺子屋運動 まなびゲーター」に就任された久保純子さんとともに「ユネスコ世界寺子屋運動」20周年活動イベントを進めていく予定です。

(※1) 「ユネスコ世界寺子屋運動」とは

日本ユネスコ協会連盟は1970年代から「コアクション活動（支援する側もされる側もともに行動する）」を通じて識字教育支援を行っており、翌年の国際識字年に先駆けて1989年に「識字運動」の表現を日本人にイメージしやすい「世界寺子屋運動」とし、「ユネスコ世界寺子屋運動」を開始しました。「ユネスコ世界寺子屋運動」は紛争や貧困のため教育を受けられないまま大人になった人たちが、学校を中途退学せざるを得ない子どもたちにノンフォーマル教育（公教育外の学習の機会）を提供することで、貧困の連鎖を断ち切り、すべての人への教育を保障することで、平和の礎を築くことを目的にしています。国連はUNESCO（国連教育科学文化機関）の主導により「国連識字の10年」（2003年～2012年）を定め、全ての子どもたちが学校に通えるようになることや、成人女性の識字率が向上することを目標としています。日本ユネスコ協会連盟もこの目標に沿って「ユネスコ世界寺子屋運動」を進めています。

(※2) 「国際識字デー」とは

「識字」とは「文字の読み書きができる」ことです。1965年9月8日、当時イランのパーレビー国王が軍事費の一部を識字教育に充てることを提案しました。これを記念して、1990年にUNESCOがこの日を「国際識字デー」と決めました。UNESCOのEFA（Education for all）グローバルモニタリングレポー2009によると、読み書きの出来ない成人の非識字者が世界に約7億7600万人いると推定されています。なお、これらの非識字者の7割以上がアジアに集中しています。

(※3) 「くるりんぱ」とは

かわいい動物や風景の絵を「くるり」と回転させると、別の動物や風景が現れるユニークな絵で、「ものの見方はひとつじゃないよ」というメッセージがこめられています。見方によって違うものに見える「くるりんぱ」は立場の違う者同士が互いに理解する気づきを促す絵でもあり、相互理解による平和を目指すUNESCOの理念に合致するものです。この絵は、元電通社員 後藤 徹氏が書いた絵本から作られたものです。

< 「ユネスコ世界寺子屋運動20周年」ロゴマーク >



《久保 純子（くぼ じゅんこ）さん プロフィール》
フリーアナウンサー



1994年NHK入局、2年間大阪放送局に勤務し、1996年東京へ配属。
その後、NHKの女性アナウンサーとしては41年ぶりに「紅白歌合戦」の司会者に
抜擢、3年連続大役を務める。2004年フリーアナウンサーに。

テレビ番組「ウチくる!？」(CX系)、ラジオ番組「久保純子のライオンミュージック
サタデー」(文化放送)をはじめ、ニュース、バラエティ、教育など多彩なジャンル
で活躍、絵本の翻訳や、英語教室などで子どもたちの英語教育も手がける。

2009年、日本ユネスコ協会連盟が推進する「ユネスコ世界寺子屋運動」の
「世界寺子屋運動 まなびゲーター」に就任。

長女が小学校に通うようになり、文字や数字を学ぶ面白さを実感するわが子を見て、
教育を受けられる幸せを実感する一方で、この地球上には勉強したくても生活のため
に働かなければならず、まだまだ読み書きができない子どもたちが大勢いることを知
り、子を持つ親として「何とかしたい!」という強い気持ちをもたれたことが、
「ユネスコ世界寺子屋運動」の理念と合致し、今回の「世界寺子屋運動 まなびゲー
ター」就任への運びとなる。

【本件に関するお問い合わせ】

社団法人日本ユネスコ協会連盟 事務局 広報室 尼子・菅野 TEL03-5424-1121
株式会社電通 総務局 社会貢献・環境推進部 常田・山中・黄 TEL03-6216-8469